

安心して健康にすごす 助け合いのまち



きめ細やかなサービスで、高齢者、障害者、子育てをサポート。住み慣れた地域で、みんなが安心して暮らせる仕組みづくりを進めます。

市民と協働で 地域福祉計画を策定

「秋田市地域福祉計画」を策定します。そのために、市民のみなさんと意見交換などをするワークショップ(研修会)を、各地域ごとに開催します。

予算 897万円

高齢者施設の充実をはかるため、ショートステイ用居室を整備する特別養護老人ホーム金寿園(下新城)に助成します。

予算 6375万円

在宅の要介護4・5のかたを介護している家族の負担軽減とリフレシユのため、要件を満たす世帯に月3千円分の秋田市共通商品券を贈ります。

予算 3922万円

泉の福祉複合施設・ウエルビュ | いずみ内に知的障害者の生活や就業上の問題について相談や助言を行う、知的障害者生活支援センターを設置します。

予算 268万円

精神障害者の社会復帰を支援するため、作業訓練や生活指導を行う小規模作業所を新設します。

予算 1040万円

骨粗しょう症検診が加わり 健診がさらに充実

基本健康診査、肝炎ウイルス検診、各種がん検診、胸部総合検診、歯周疾患検診に加え、新たに40歳

と50歳の女性を対象とした骨粗しょう症検診を実施します。さらに事後指導も行います。

予算 3億5629万円

妊婦健診へ新たにC型肝炎などの感染症検査と歯科健診を加えて実施します。さらに、妊産婦、新生児への訪問指導も行います。

予算 6619万円

円滑な救急業務のために 救命士の教育・指導に力

救命士の教育や指導などを行うメデイカルコントロール体制を強

化します。年々複雑になり、増え続ける消費者トラブルの解決のため、専門的知識を持った相談員を増員するとともに、関係機関との連携をはかりながら、相談体制を強化します。

予算 34万円



保育所入所 待機児童の 解消に努めます

認可保育所の定員を拡大し、受け入れを増やします。また、市が独自に認定している認定保育施設の助成(一)を充実し、待機児童の受け皿としての機能を強化します。

認可保育所の定員を拡大

四月から、ごしよの保育園(御所野)の定員を120人に拡大。また、認定保育施設の「保育園チャイルド純(土崎港西)が「あきたチャイルド園」と名前を変え、定員が90人の認可保育所になりました。

予算 1億5847万円

認定保育施設の機能強化

新たに、くれよんハウス、こぐま保育園、こまどり幼稚園附属保育園、エンジェルハウスかつひらを認定保育施設に認定し、保育環境の充実をはかります。

予算 2520万円

0歳児の保育料を免除

子育てにともなう経済的負担を軽くするため、第三子以降だけでなく、今年四月一日以降に生まれた、第一子の0歳児の保育料も免除します。

予算 7102万円

障害のあるかたの福祉サービス 支援費制度が 始まりました



4月から「支援費制度」という新しい制度がスタートしました。

この制度は、障害のあるかたが自分で選択した事業者や施設と契約を結んで、ホームヘルプサービスやデイサービス、施設入所などの福祉サービスを利用する制度です。

身体・知的障害のあるかたが対象

対象となるのは、支援を必要とする身体障害者手帳をお持ちの身体障害児者、または知的障害児者です。ただし、介護保険制度の対象になるかたは、原則として介護保険制度のサービスを利用することになります。秋田市では、居宅サービス約300人、施設サービス約700人がこの制度によるサービスを利用し始めています。

利用するサービスを自分で選択

これまで、身体障害や知的障害のあるかたが利用する施設や在宅でのサービスは、行政がその内容や事業者、施設などを決定する「措置制度」といわれる制度のもとで行われてきました。

この「支援費制度」では、利用者が自分でサービスの内容や事業者などを選び、対等な立場で契約を結んでサービスを利用することになります。このため、身体障害者療護施設「ほくと」、知的障害者入所更生施設「竹生寮」に、新たにケアマネジャーを配置し、相談支援体制の強化をはかります。

また、事業者や施設には、利用者の選択に十分こたえられるよう、サービスの質の向上をはかることが求められます。

サービスを整備して選択の幅を広げます

市でも、利用者のかたが自由に選択できるように、福祉サービスを整備していきます。デイサービスの定員増や、知的障害者のグループホームの運営などに助成します。

予算 21億5671万円

詳しくは、次号の広報あきたでお知らせします。

問い合わせ 障害福祉課障害福祉担当
☎(866)2093 FAX(863)6362



健康のつどい

健康づくりを応援します！

健康あきた市21計画

すべての市民が元気でいきいきと暮らすためには、病気の予防が大切。特に、最近増加している「生活習慣病」は、日常の生活習慣を改善することで予防できます。そこで、生活習慣の改善を進め、市民の健康を実現させるための行動計画を策定しました。この計画は今年度から平成22年度までの8年計画で、今年度は健康フォーラムの開催などを通じて、市民の健康づくりを支援します。

予算 100万円